国立職業リハビリテーションセンター

中央障害者職業能力開発校

令和4年度（2022年度）
職業訓練のご案内

夢を切り拓こう！

ハロートレーニング
――急がば学べ――

障害のある方々が就職を目
必要な知識・技能を習得す

年間を通じた入所機会を設定

年間10回の入所の機会を設けています。

一人ひとりの特性に合わせた個別カリキュラム

訓練生の状況や学習・就労経験、得意分野などに合わせて、個別のカリキュラムを設定し、訓練を行います。

導入期の訓練による対応法の検討・整理

入所後に環境への適応や障害の状況を把握し、その方の特性に合った対応法を習得するための支援を行います。

職業訓練と並行して行う丁寧な適応支援

技能訓練と並行して、職業生活に必要なコミュニケーションやスケジュール管理等の適応支援を実施します。

ハローワークや支援機関と連携し就職を実現

就職を希望する地域のハローワーク、地域障害者職業センター等との連携による様々な支援を通じて、早期就職を実現します。

障害者職業訓練全体のレベルアップに貢献

先導的な職業訓練実施の成果をもとに、職業訓練内容、指導技法等を他の障害者職業能力開発校等に提供しています。

新型コロナウイルス感染症対策

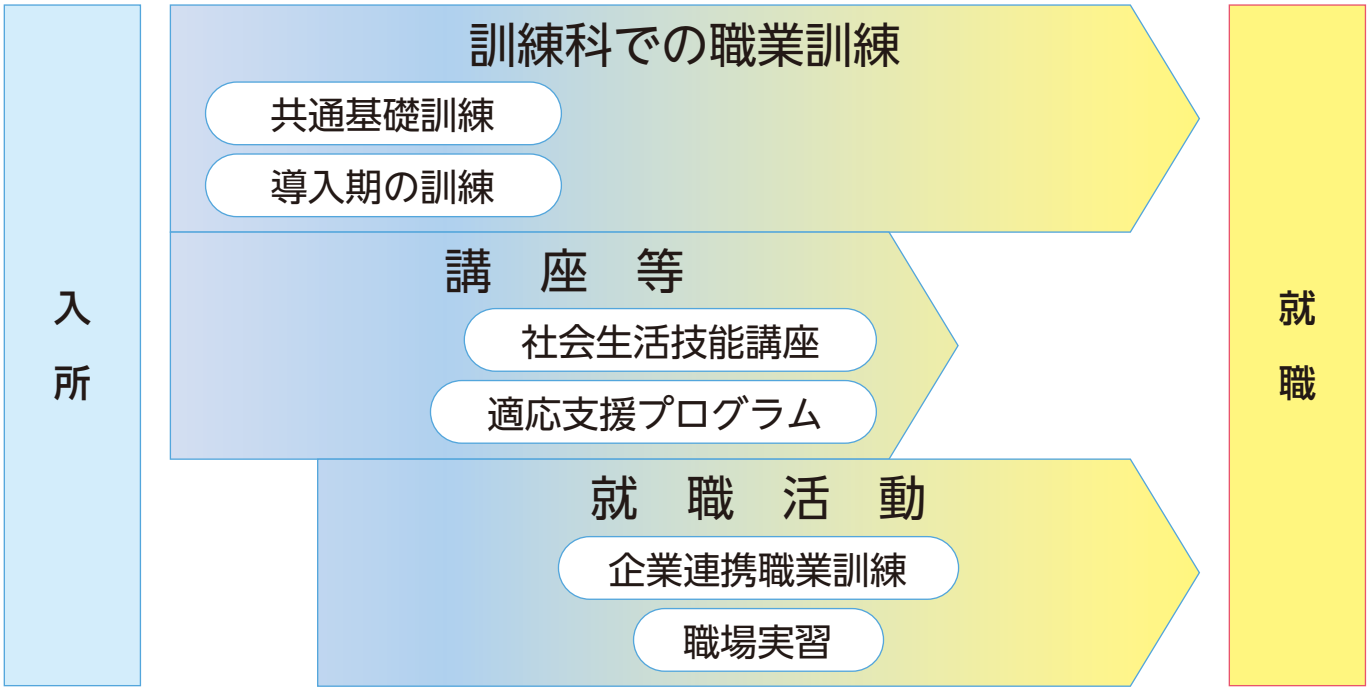
国立職業リハビリテーションセンターでは、訓練生が安心して受講できるように、つぎのとおり感染対策を講じています。

●基本的な感染症対策の徹底
（マスクの着用、手洗い・手指消毒等）
●常時又は定期的な室内換気、共有機器等の消毒
●パーテーションの設置による飛沫感染防止措置
●毎朝の検温、健康チェック

指し、
るための訓練を行っています。

国立職業リハビリテーションセンターは、職業能力開発促進法に基づく「中央障害者職業能力開発校」と、障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく「中央広域障害者職業センター」の２つの機能を持っています。厚生労働省により昭和54年に設置され、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営しています。隣接する国立障害者リハビリテーションセンターと連携して、障害のある方々の自立に必要な職業指導や職業訓練などを体系的に提供する、我が国における職業リハビリテーションの先駆的実践機関です。

職業訓練のご案内



訓練生の個々の状況に応じて、様々な講座や訓練を実施しています。

共通基礎訓練

ＩＴ基礎訓練、ビジネスマナー講座、電話応対訓練

導入期の訓練

安定した訓練受講と、円滑な技能訓練に向けた準備を目的として、入所から最大３週間の導入期の訓練を行います。

社会生活技能講座

一般訓練科の訓練生を対象に、体調管理、生活習慣及び職業訓練の継続と自己管理及び就職準備を目的とした支援を行います。

適応支援プログラム

職域開発科の訓練生を対象に、安定した職業生活、長期的な就労を目指し、コミュニケーションのトレーニング（対人技能）とストレス・疲労対処の講習を必要とする方への支援を行います。

企業連携職業訓練

障害者の雇い入れを検討している企業との密接な連携により、特注型の訓練メニューによるセンター内での訓練と、実際の企業現場での訓練を組み合わせた職業訓練及び採用・職場定着のための支援を行います。

適応支援プログラム

社会生活技能講座

訓練系・訓練科・訓練コース一覧（4系・10科・17コース）

訓練系	訓練科	訓練コース	定　員	訓練対象者
メカトロ系	機械製図科	機械CADコース	5	発　達 精　神 高次脳 身　体 難　病
	電子機器科	電子技術・CADコース	5	
	テクニカル オペレーション科	ＦＡシステムコース	10	
		組立・検査・物品管理コース		
建築系	建築設計科	建築CADコース	5	
ビジネス情報系	ＯＡシステム科	ソフトウェア開発コース	25	
		システム活用コース		
		視覚障害者情報アクセスコース		視　覚
	ＤＴＰ・Web 技術科	ＤＴＰコース	15	発　達 精　神 高次脳 身　体 難　病
		Webコース		
	経理事務科	会計ビジネスコース	10	
	ＯＡ事務科	ＯＡビジネスコース	60	
職域開発系	職域開発科	物流・組立ワークコース	25	発　達 精　神 高次脳
		オフィスワークコース		
	職業実務科	販売・物流ワークコース	20	知　的
		オフィスワークコース		
		ホテル・アメニティワークコース		

訓練期間・時間

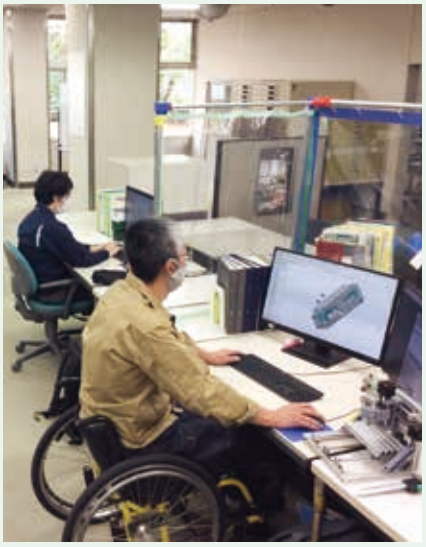
訓練期間　1年間（ただし、就職内定等により早期修了する場合もあります）

訓練休　土曜・日曜日、国民の祝日
夏季、冬季、春季、ゴールデンウイークにそれぞれ1週間程度の訓練休

訓練時間　年間1,400時限
月・火: ７時限、水～金: ６時限
１・２時限　8:50 ～ 10:30　休憩10分
３・４時限　10:40 ～ 12:20　休憩１時間
５・６時限　13:20 ～ 15:00　休憩10分
７時限　15:10 ～ 16:00

メカトロ系

明日のものづくりを担う人材を
育成します！



担当指導員から

機械が好きな方、ロボットや自動車などの機械の設計に興味がある方にオススメのコースです。

機械CADコースでは製図やCADに関する訓練を基礎から丁寧に行った後、３次元CADを使い実際の仕事と同じ流れで機械の設計の演習、３Ｄプリンタでの試作を約半年間行います。

また、経験、障害状況、就業希望に応じて相談しながら訓練を進めることができます。

訓練生から

未経験で入所して約６カ月で２次元、３次元CADが扱えるようになり、現在設計を学んでいます。私は車椅子ですが工作機械の加工も見学でき、設計に必要な加工方法についても理解を深めることができました。

機械CADコース

機械加工における基礎的な知識・技能を身につけた上で、機械の部品図・組立図の２次元CADによる設計・製図、３次元CADによるモデリング等に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事
機械設計、CADオペレーター

関連資格
技能検定

主な就職先
自動車関連製造・設計部門・産業機械製造設計部門・電子計測器筐体製造・設計部門

担当指導員から

電気・電子についての「ものづくり」の訓練を行うコースです。電気・電子の基本から訓練を始めるので、未経験の方でも安心して訓練を受講することができます。

訓練生から

初めて学ぶ分野でしたが、基本から教えてくれるので安心できました。また訓練で失敗した箇所については、改善点等を丁寧に教えてくれます。

電子技術・CADコース

電気・電子機器の取扱いにおける基礎的な知識・技能を身につけた上で、CADを利用した回路パターン設計、電子回路の組立・検査、電子制御のプログラム開発等に関する知識・技能を習得します。

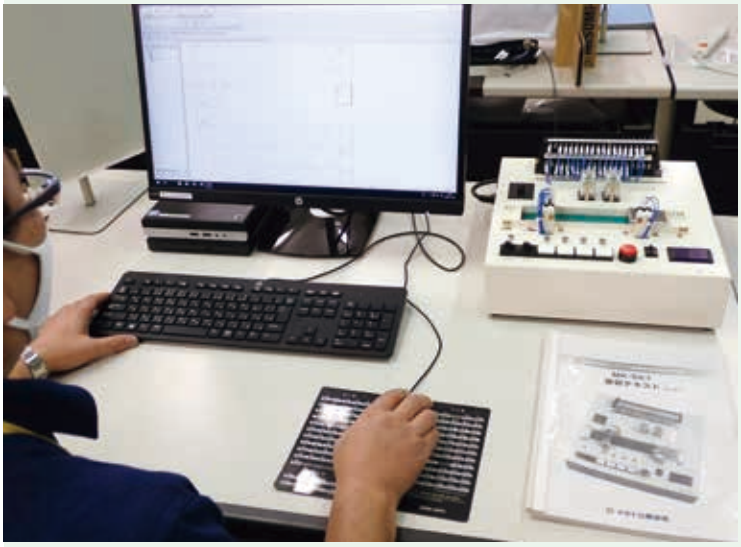
目標とする仕事
電気・電子機器関連の設計・組立・製造・検査・修理

関連資格
ディジタル技術検定

主な就職先
機械器具製造・設計部門

CADとは：Computer Aided Designの略。コンピュータで設計や製図をするシステムのこと。

メカトロ系



担当指導員から

電子・電気に基本的な知識や技能を身に付け、機械の加工機等の電気配線や制御についての訓練を行います。また金属加工機等の使用方法を学ぶことで、幅広い分野での就職が可能となります。

訓練生から

専門的な用語や技能が身に付き、ものづくりを行う達成感があります。はんだ付けも丁寧に教えてもらい上手になりました。

FAシステムコース

機械加工や電気制御・設備に関する基礎的な知識・技能を身につけた上で、ものづくりを通して制御や設備に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事

機械・電気機器製造業等の製造・組立ラインの設計・保守、工場内設備の設計・製図

関連資格

ディジタル技術検定

主な就職先

製造メーカーの設備工事部門

担当指導員から

資材の受入れから組立・検査・出荷までの製造工程に係る、機械加工や電気・電子機器の組立・検査などの技能に加え、製造分野で使用する物品の名称や規格、保管方法、運搬方法などを学ぶことができます。身体を動かす作業が好きな方に最適な訓練コースです。

訓練生から

機械加工、電気・電子、物流の３分野を中心に訓練しています。今後の就職を広く考えることができました。

組立・検査・物品管理コース

製造業における一連の作業工程に関する基礎的な知識・技能を身につけた上で、機械加工、電気・電子機器組立・配線・検査、物品管理に関する専門的な知識・技能を習得します。

目標とする仕事

機械・電気機器製造業等の組立、検査、物品管理

関連資格

ディジタル技術検定

主な就職先

自動車部品製造部門、金属素形材製品製造部門

FAとは：Factory Automationの略。工場等の作業や工程を自動化すること。

建築系

建築の面白さを知って
新しい自分を見つけよう！

担当指導員から

訓練は個別カリキュラムで行いますので、希望職種について相談し、職種に合わせできるだけ実践的な訓練を行います。

建築関連職種の経験がない方も皆さんCADを使って図面を描く仕事に就いています。

訓練生から

丁寧な指導でわかりやすく初心者でも理解できます。少人数のため、いつでも質問や相談ができる環境で安心して受講できます。

実務に生かせる技術が勉強でき、充実した時間を過ごすことができました。

建築CADコース

建築設計及び福祉住環境に関する基礎的な知識を身につけた上で、建築設計やリフォームに関して、平面（２次元）及び立体（３次元）図面のCADの操作による作成、あるいはプレゼンテーションに関する総合的な知識・技能を習得します。

目標とする仕事
建築設計、CADオペレーター

関連資格
福祉住環境コーディネーター２級

主な就職先
一般土木建築工事業の設計部門、総合工事業の設計部門、設備設計事務所の設計部門

担当指導員から

プログラミングは言語の文法を学ぶのではなく、変数、条件分岐などの考え方を身につけることが大切です。

多様な開発言語に対応できるように訓練を行います。

プログラミングに必要なネットワークなどのIT専門分野の知識を必要に応じて習得します。

訓練生から

プログラミングを行う上での考え方や他の言語を用いる際の知識を深めることができました。

ネットワークの知識を踏まえたサーバの構築のスキルを身につけることができました。

ソフトウエア開発コース

情報処理システムの運用におけるオペレーション、情報セキュリティ、ネットワーク等の基礎的な知識・技能を身につけた上で、各種のプログラミング言語（Java、Ｃ言語等）を使用した、情報システム開発におけるプログラムの設計と開発に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事
システム開発

関連資格
応用情報処理技術者試験、基本情報処理技術者試験、日商ＰＣ検定

主な就職先
情報サービス・ソフトウェア業のWebプログラマー、システム開発部門

CADとは：Computer Aided Designの略。コンピュータで設計や製図をするシステムのこと。

ビジネス情報系

新時代のIT技術を身につける訓練を実施

担当指導員から

コンピュータを操作して、必要な情報を得ることができる知識と技能を身につける訓練を行っています。コンピュータシステムを取り扱う技能だけではなく、問題箇所やトラブルの発見、簡単なシステムの構築もできる人材を目指しましょう。

訓練生から

今まで扱ってきた情報技術がどのような仕組みで動作しているのかを理解することができました。また、その知識を活用することで、発生したシステム障害の対応方法や扱い方に関してのスキルを身につけることができました。

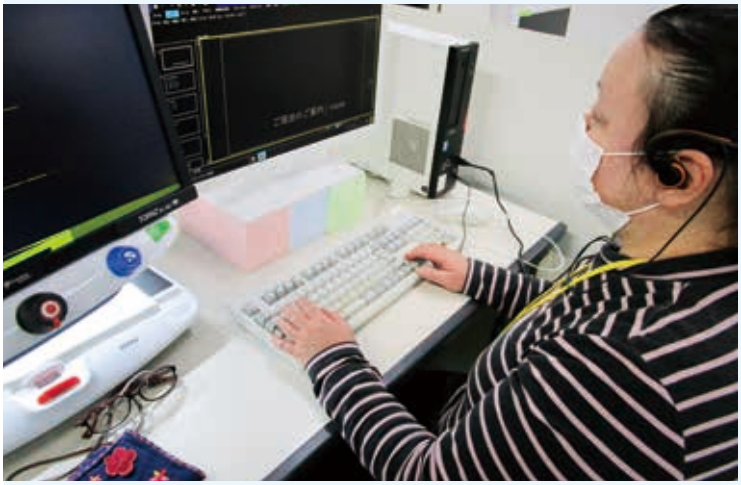
システム活用コース

情報処理システムの運用におけるオペレーション、情報セキュリティ、ネットワーク等の基礎的な知識・技能を身につけた上で、事務効率化のマクロプログラミング、サーバ構築・管理など社内のＩＴ業務をサポートするための知識・技能を習得します。

目標とする仕事
システム管理・保守、ネットワーク構築・保守

関連資格
ＩＴパスポート試験、基本情報処理技術者試験、日商ＰＣ検定

主な就職先
人事データ管理部門、情報サービス業のデータ入力・照合等の担当部門、システム管理部門(社内システム管理・保守)



担当指導員から

支援機器・ソフトを一人ひとりに合ったものを選定し、設定をカスタマイズしていくことで、作業がしやすい環境を構築してから訓練を行います。

キーボード操作を中心としたパソコンスキルを身に付け、事務処理に必要な知識と技能を習得します。

訓練生から

エクセルの関数やショートカットキーの使い方が理解でき、スキルが身に付きました

エクセル、ワードを用いた事務作業や電話応対訓練など実践的な訓練が多く取り入れられていて、仕事のイメージがわきました。

視覚障害者情報アクセスコース

視覚障害者用アクセス機器(拡大読書器・点字ディスプレイ)及びアクセスソフト(音声化ソフト・画面拡大ソフト等)を活用し、一般的な事務及びOA機器の操作における基礎的な知識・技能を身につけた上で、パソコンによるビジネスソフトの利用を中心とした事務処理に必要な知識･技能を習得します。重度視覚障害(１・２級)のある方は、通常の訓練に入る前に3ヵ月間の導入訓練を実施しています。このため総訓練期間は1年3ヵ月となります。

目標とする仕事
一般事務、ＯＡ事務

関連資格
ITパスポート試験、基本情報処理技術者試験、 日商ＰＣ検定

主な就職先
総務・人事関係部門(勤怠管理・採用担当業務等)

ビジネス情報系

グラフィックデザインを支える技術・Webデザイナーとして必要な技術を身につける訓練を実施！

担当指導員から

ＤＴＰシステムの基礎知識を基に、ＤＴＰデザイン・オペレーション、Webデザイン、写真加工、イラストオペレーションなど、グラフィック全般に使える知識・技術をスキルに応じて習得できます。

訓練生から

チラシやポスターの作成を実際に行うことができました。またレイアウトや写真加工など色々なことにチャレンジでき充実していました。

DTPコース

印刷・製版に関する基礎知識を身につけた上で、DTPシステムを活用して、チラシ、ポスター等の商業印刷物を制作するための知識・技能及びパソコンを利用した事務処理ができる知識・技能を習得します。

目標とする仕事

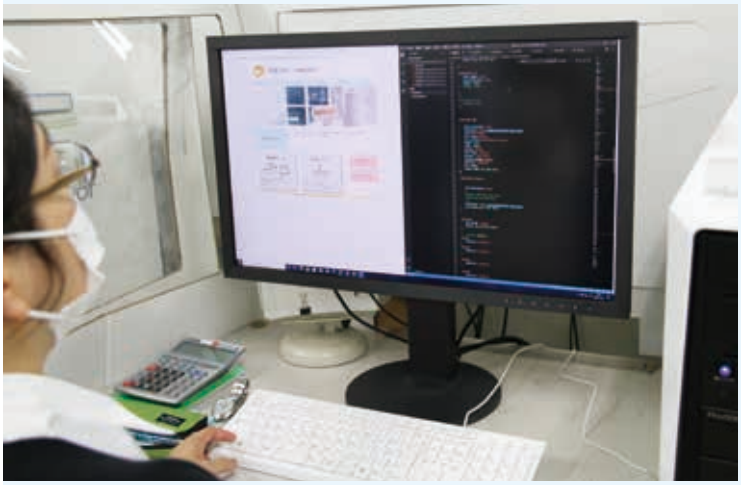
DTPオペレーター、グラフィックデザイナー

関連資格

色彩検定、日商PC検定

主な就職先

デザイン部門、営業支援部門、印刷部門、総務部門



担当指導員から

コンピュータとインターネットに関する基礎知識を基に、誰にでも使いやすく、集客力のあるWebサイトを構築するための知識・技能を習得します。

訓練生から

ホームページをゼロからデザインし、HTML・CSSを使って作り上げる事ができました。その他にもWebの基礎的な知識や技術を身につける事ができたので、変化の激しいWeb業界の中で働いていくための土台を築くことができました。

Webコース

コンピュータとインターネットに関する基礎知識を身につけた上で、誰にでも使いやすく、集客力のあるWebサイトを構築するための知識･技能を習得します。

目標とする仕事

Webデザイナー

関連資格

Webデザイナー技能検定、日商PC検定

主な就職先

Web制作部門、サイト管理部門、Webサービス部門、総務部門

DTPとは：Desktop Publishingの略。パソコンで印刷物のデータを作成すること。

ビジネス情報系

事務職経験ゼロから即戦力へ！

担当指導員から

訓練の進め方は、初心者の方は最初に集合訓練で進めますが、進捗状況に合わせて、個別学習により能力を伸ばします。

資格は日本商工会議所主催簿記検定、電子会計実務検定、ＰＣ検定の資格取得が可能です。

ただし、資格取得に目標を絞った訓練ではなく、実力を育成することを目指しています。

訓練生から

簿記の知識ゼロで入所し、最初は訓練についていけるか不安でしたが、個別学習のおかげで簿記を深く学べて、就職にも強いです。

会計ビジネスコース

一般的な事務及びOA機器の操作における基礎的な知識・技能を身につけたうえで、簿記、税務、財務、給与計算等の知識を習得するとともに、ワープロ・表計算等のアプリケーションソフト及び財務会計・給与計算等のビジネスソフトを利用した各種資料の作成等に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事
経理事務、総務事務、営業事務

関連資格
日商簿記検定、日商電子会計実務検定、日商PC検定

主な就職先
各種業界の経理部門、会計事務所

担当指導員から

事務職に求められる仕事をイメージできるよう、訓練では事務職の主な仕事を体験しながら知識・技能を習得します。また、知識・技能の習得だけでなく、各種作業を行う上で自身の作業特性を把握し対応法を学ぶことができます。訓練は個々の習得状況に合わせて個別訓練で実施しますので、安心して自分のペースで進めることができます。

訓練生から

自分のペースで訓練を進められ、自分が理解できるまで丁寧に教えてもらうことができました。

訓練も就職活動も、相談ができる体制であり、安心して進めることができました。

OAビジネスコース

一般的な事務及びＯＡ機器の操作における基礎的な知識・技能を身につけた上で、ワープロ・表計算等のアプリケーションソフトを利用した各種資料の作成や電話・メール応対、来客応対、備品管理、簿記・給与計算の基礎等に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事
一般事務、総務事務、営業事務

関連資格
日商ＰＣ検定

主な就職先
総務、人事、経理部門

職域開発系

今の自分より活躍できるために！

精神障害、発達障害、高次脳機能障害のある方

各コースの基礎から専門知識・技能の習得とあわせて、安定した職業生活を送るための対人スキルや対応法の習得を目指します。

担当指導員から

訓練は、一人ひとりの目標に合わせて段階的に行います。訓練の中で、物流業、製造業に必要なスキルを学びながら自分に合った知識・技能の習得ができます。

訓練生から

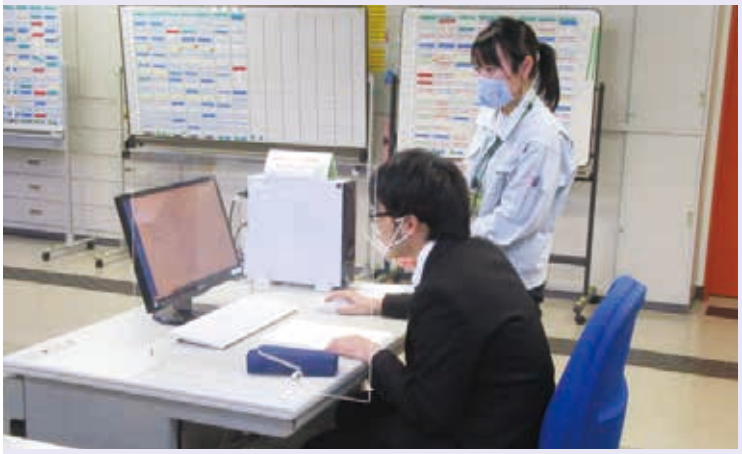
物流に関する基礎知識から、商品のピッキングや部品の仕分け等の幅広い実務作業を学ぶことができました。

物流・組立ワークコース

運輸業で行われる商品のピッキングや運搬、伝票処理等の物流作業、製造業で行われる什器や電子機器等様々な製品の組立・分解作業に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事
物流作業、製造組立作業、製造組立補助

主な就職先
プラスチック製品製造業、一般貨物自動車運送業の製造・商品管理部門



担当指導員から

パソコンの基本操作や事務工具の使い方から訓練を行います。就労場面を想定しており、報告の仕方など社会人としてのマナー習得を目指した訓練も行っています。

訓練生から

パソコンの入力経験が無くても指導員の指示のもと実力をつけていくことができました。

オフィスワークコース

ＯＡ機器の基本操作方法を身につけた上で、データ入力、各種帳票の作成、文書やデータ整理、郵便物の仕分けや発送準備等の事務作業に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事
データ入力、一般事務

関連資格
日商簿記検定、日商ＰＣ検定

主な就職先
不動産業・人材派遣業・情報通信業等の人事総務部門、小売業の顧客管理部門

両コース共通で、訓練中の反省点・改善点を振り返る訓練などを通して、就労場面での課題を整理し、対応法の習得を目指します。
さらに、一人ひとりの目標に応じて選択制で就労に関する講習を行っています。
▶職場でのコミュニケーションスキルを高めるために、対人スキルトレーニング(SST等)を実施します。
▶記憶力・注意力などを高めるために、認知スキルトレーニング(CST)を実施します。
▶仕事と心身の健康との両立を実現するために、ストレス・疲労の対応法や自己分析の講習を実施します。

職域開発系

得意なことをたくさん見つけたい方に！

知的障害のある方

各コースの基礎から専門知識・技能の習得とあわせて、基本的労働習慣や職業生活に必要な社会生活技能の習得を目指します。

販売・物流ワークコース

小売店での商品のパックや袋詰め、陳列、接客等、物流センターでのピッキングや検品、運搬等に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事
物流センター等の出荷作業、スーパーマーケット等での商品販売・バックヤード作業

主な就職先
小売販売業の出荷部門、バックヤード部門、製造部門

オフィスワークコース

ＯＡ機器の基本操作方法を身につけた上で、各種事務所でのデータ入力、伝票整理、郵便物の仕分けや発送準備等に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事
データ入力、一般事務、事務補助

主な就職先
一般企業の総務部門

ホテル・アメニティワークコース

ホテルでの客室整備、清掃等、飲食店における接客サービスや調理補助、食器・調理器具の洗浄等に関する知識・技能を習得します。

目標とする仕事
ホテル等の清掃・整備作業、飲食施設・医療・介護施設等の厨房内作業

主な就職先
介護施設の清掃部門、飲食業の調理部門

訓練科からのメッセージ

販売・物流ワークコース

商品管理を中心とする物流センター等での出荷準備業務やスーパー等での店舗内業務に関する知識・技能の習得を目指すとともに、職場の基本的なマナーやルールを理解し、職場定着を目指します。

オフィスワークコース

事務業務に関する知識･技能の習得を目指すとともに、職場の基本的なマナーやルールを理解し、職場定着を目指します。

ホテル・アメニティワークコース

ホテル等での客室清掃・整備や料飲サービスのほか、レストラン厨房等での食器洗浄、調理補助業務、各種施設での清掃業務に関する知識・技能の習得を目指すとともに、職場の基本的なマナーやルールを理解し、職場定着を目指します。

さらに、職場のマナーやルールやコミュニケーション、働くための体力づくり等の訓練を各コース共通で実施しています。

導入期の訓練

円滑な技能訓練を実施するための準備期間として、入所後３週間導入期の訓練を実施します。
導入期の訓練は、「安定受講」、「困っていることや作業のやりにくさ」について整理し、対応法を検討して訓練場面や就労場面で活用できる事を目的としています。

入所

- 健康管理
- 環境への適応
- ストレス・疲労の把握
- 作業を通した特性把握
- 対応法の検討
- 作業場面における対応法の活用

準備をして技能訓練へ

技能訓練（各訓練科）

- メカトロ系
- 建築系
- ビジネス情報系
- 職域開発系

作業を通して自己理解（特性把握）

振り返り対応法の検討・相談

対応法の活用・実践

訓練科での活用

L 字定規・定規を活用した対応法

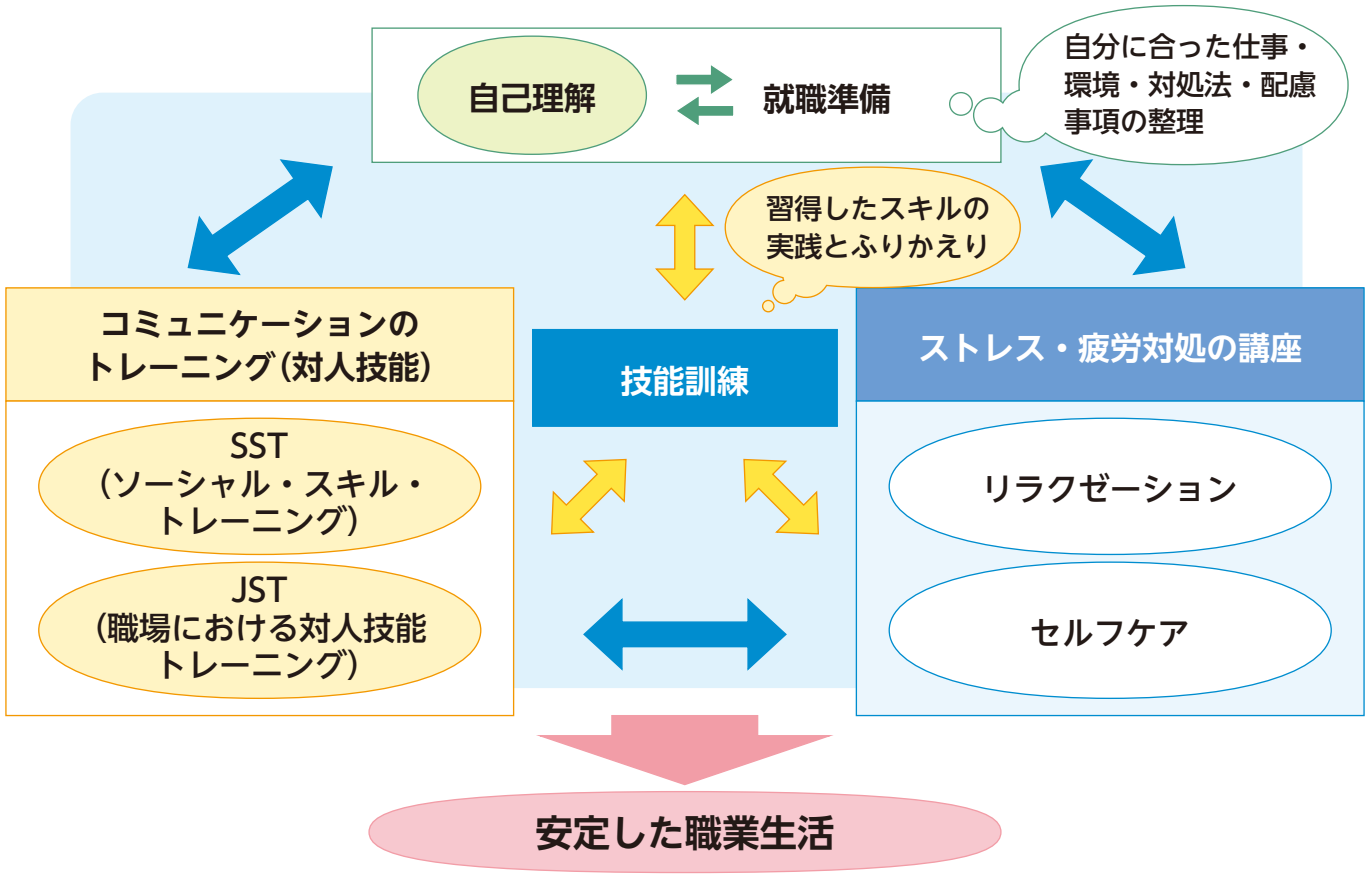
スケジュールやメモを活用した対応法

リラクゼーションの風景

作業指示を受けた時のメモの取り方、スケジュール管理、ケアレスミスを少なくする方法、ストレス・疲労を軽減するためのリラクゼーション法等
自分にあった対応法を学びます。

適応支援プログラム

職域開発科では、安定した職業生活を送れること、長く働けることを目指し、コミュニケーションのトレーニング（対人技能）とストレス・疲労対処の講座などを実施しています。
職域開発科に所属する訓練生に加え、必要に応じて他の訓練科の訓練生も受講できます。



実施講座

● SST（全６回）

▶自分も相手も大切にするコミュニケーションについて学びます。
▶職場や訓練の中で戸惑う事柄について、参加者同士で意見を出し合いながら練習します。

● JST（全６回）

▶職場で必要となる対人技能について、より良い表現方法や振る舞い方を学びます。
▶実際の場面でも活用することができるよう、具体的な場面を想定した練習（ロールプレイ）をします。

● リラクゼーション（全４回）

▶緊張、不安、疲労などを和らげるための技法（リラクゼーションの技法）を演習します。
▶自分に合った対処法を考えるヒントを得るための講習です。

● セルフケア（全５回）

▶自分自身の考え方や感じ方の傾向を知り、ストレスや疲労に繋がっている考え方を様々な方向からとらえなおすことによりストレスを軽減する方法について学び、演習を行います。
▶怒り（イライラ）を感じた時の対処法についても学びます。

職業指導・就職支援

訓練生ごとに担当者を選任し、就職活動を円滑に進めるための相談、職業訓練への適応や就職後の勤務継続に関する助言・指導を行います。

訓練開始早期からの就職支援

・就職活動に必要な知識・情報の提供を、各種講座等を通じて実施します。

社会生活技能講座（一般訓練科の講座）

講座名	内容
就職活動セミナー	今後の就職活動の進め方全体について説明を行います。
働き方を考える	今後の仕事選びの参考となるように、障害者雇用制度の概要、合理的配慮の事例、長く働き続けるためのポイント、訓練生の就職状況を紹介します。
自己理解・ナビゲーションブック	ご自身の障害や病気の状態を説明するための資料を作成する方法について、解説します。
応募書類の作成	求人応募の際に作成する、履歴書、職務経歴書の作成方法について解説します。

求人情報の提供

・ハローワークから提供された最新の求人を常時掲示しております。また、必要に応じてハローワークに同行し相談を行います。
・求人への応募を希望される場合、担当者との面談を通じて条件等を確認し、応募書類の作成についても助言を行います。

会社説明会・面接会の案内

・ハローワークが主催する会社説明会や面接会のご案内を随時提供しております。
・また、企業の依頼に応じ、当センター内で会社説明会や面接会の開催を計画、実施することもあります（不定期開催）。
・企業との採用にかかる面接を受ける前に、担当者と面接の練習を行う時間を設けます。

企業連携職業訓練、職場実習のコーディネート

・職場見学を行ったり、企業における作業体験を通じて、職務内容、職業生活、通勤等をはじめとした、具体的な就労イメージの形成を行い、その後の就職の実現につなげる活動をコーディネートします。

訓練修了後のフォローアップ

・訓練を修了された方やお勤め先の企業のご希望に応じて、職場定着に向けた助言、援助を行います。

活動	内容
フォローアップ訪問	担当者が勤務先を訪問し、勤務継続にかかる助言を行います。
ジョブコーチ支援	地域障害者職業センターの協力を得て、ジョブコーチによる職場適応支援を実施します。
就労支援機関の利用登録	お住いの地域の社会資源（就労支援機関）の利用登録に同行し、支援経過の引継ぎを行います。

会社説明会・面接会の案内の掲示

手話通訳同席による相談

事業主への支援

訓練生の採用や雇用継続を考えている企業に対して、施設見学や会社説明会の開催、インターンシップの実施等を行っています。

施設見学

障害のある方がどのような仕事ができるかを知る

どのような訓練が行われているか
現場を見てみたい

見学の申込み
●初めての障害者の受入れには、訓練の様子を見学し、
不安感を払拭

会社情報提供

障害のある方の雇用に向けて自社の職務内容や労働条件を訓練生に広く周知する

どのような訓練生がいるか知りたい

ホームページ上の訓練生（訓練修了者と修了予定者）**情報の閲覧**
トップページ ➡ 訓練生情報

会社の説明を行い、
訓練生とも話がしてみたい

当センター内での**会社説明会**実施の申込み

インターンシップ

実際に採用する前に自社の課題を確認し、準備する
障害のある方の特性を把握してから採用、配置を検討する

訓練生の能力や適性を見てみたい

職場実習での受入れの相談

採用を予定している職務内容に
見合った訓練実施と職場環境の
準備がしたい

企業連携職業訓練実施等の相談
●職場実習と組み合わせた実施も可能

在職者のための職業訓練

■内容　在職中の障害のある方が、職業技能のレベルアップを図るための訓練を行っています。

■対象者　障害のある在職者の方で、各コースを学ぶ前提となる知識・技能・経験を有する方等

■訓練期間　2～4日程度

■申込み方法　所属事業所を通じて開講日の1カ月前までに電子メールでお申し込みください。
内容や開講日等の詳細は当センターホームページをご覧ください。

■お問合せ　導入訓練・技法普及課
（TEL04-2995-1135）

休職中の方のための職業訓練

■内容　疾病、事故等により受障し休職中の方が、職場復帰するにあたり必要な技能を身につけるための職業訓練を各訓練コースで実施しています。

■対象者　休職中で在籍している事業所に職場復帰を予定している、身体障害や難病、高次脳機能障害等のある方

■訓練期間　6カ月間

■申込み方法　「訓練生募集・職業評価・入所日程」に準じますが、応募書類申請までに、対象者と事業所担当者双方の当センターの見学や職場復帰のための事前相談が必要になります。詳細はお問合せください。

■お問合せ　職業評価課
（TEL04-2995-1201）

入所申請の流れ

就職を希望される障害のある方

↓

ハローワークで求職登録・相談

宿舎の利用を希望

※注１

↓

国立障害者リハビリテーションセンターへの利用申請

↓

利用決定

↓

通所での利用を希望

↓

ハローワークへ入所申請

↓

※注２

職業評価

職業評価の結果を踏まえて
総合的に入所の可否を判断します。

↓

入所決定

※注１

宿舎利用希望者はハローワークへの申請の前に国立障害者リハビリテーションセンターへの利用申請をしてください。（連絡先はP.22Q＆A参照）
同時にお住いの市町村への利用相談が必要となります。宿舎は身体障害、難病、高次脳機能障害のある方のみ利用可能です。
その他の方は、宿舎を利用できないため、通所での訓練受講になります。

※注２

- 高次脳機能障害のある方（＊）
- 発達障害のある方
- 精神障害のある方
- 知的障害のある方

⇒ 地域障害者職業センターで事前相談を行います。

＊国立障害者リハビリテーションセンターに入所中の高次脳機能障害のある方は、必要に応じて、当センターで事前相談を実施します。

職業評価とは

入所を希望する方に対して、身体、医療、基礎能力(学力等)、職業能力等の各側面に関する「職業評価」を実施します。この職業評価によって、職業訓練の受講に必要となる基礎学力や適性、健康状態、就職に関する要望などを確認し、総合的に入所の可否を判断します。
また、入所が決定した場合には、職業評価で得られた情報をもとに、職業リハビリテーション計画(支援計画)を作成します。

希望訓練系	期　間	内　容
メカトロ系 建築系 ビジネス情報系 職域開発系(職域開発科)	5日間	・基礎評価:職業適性検査、心理検査等 ・作業評価(希望する訓練コース等) ・面接
職域開発系(職業実務科)	5日間	・学力検査:国語、算数 ・作業評価(希望する訓練コース等) ・面接(本人・家族等)

入所申請にあたっての留意点

1．ハローワークで希望訓練コースについて相談の上、手続きを進めてください。
2．入所申請にあたっては、『職業訓練生募集要項』に記載の「ハローワークに提出する入所申請書類一覧」を参照いただき、申請書の作成をしてください。なお、募集要項は、最寄りのハローワーク、または当センターホームページにてご確認いただくことができます。
3．入所にあたり提出された書類は、原則として返却しませんので、ご了承ください。個人情報は厳正に取り扱い、目的以外には使用しません。

職業評価に係る借上宿泊施設の利用について

職業評価の受検に当たって居住地からの通所が困難な方については、当センターが契約した借上宿泊施設(以下「宿泊施設(ホテル等)」という。)を利用することができます。
この制度は、当センターと宿泊施設(ホテル等)との契約に基づき、当センターが宿泊者(入所申請者)の宿泊費を負担するものです。

借上宿泊施設の利用対象者

	新規学校卒業予定者	新規学校卒業予定者以外
身体障害、難病、高次脳機能障害のある方	○	—
発達障害、精神障害のある方	○	○

入所のご相談・問い合わせ先

職業評価課　【TEL】04-2995-1201　【E-mail】Shokureha-hyokaka@jeed.go.jp

訓練生募集・職業評価・入所日程

応募回	ハローワークへの申請書提出締切日	職リハへの応募締切日	職業評価期間	入所日
第1回	令和4年　3月14日(月)	3月28日(月)	4月18日(月) ～ 4月22日(金)	6月　3日(金)
第2回	4月　5日(火)	4月19日(火)	5月16日(月) ～ 5月20日(金)	7月　7日(木)
第3回	5月16日(月)	5月30日(月)	6月20日(月) ～ 6月24日(金)	8月　3日(水)
第4回	6月17日(金)	7月　1日(金)	7月25日(月) ～ 7月29日(金)	9月　5日(月)
第5回	7月22日(金)	8月　5日(金)	8月29日(月) ～ 9月　2日(金)	10月13日(木)
第6回(※1)	8月18日(木)	9月　1日(木)	9月26日(月) ～ 9月30日(金)	11月14日(月)
第7回(※2)	9月29日(木)	10月14日(金)	11月　7日(月) ～11月11日(金)	12月16日(金)
第8回	10月27日(木)	11月11日(金)	12月　5日(月) ～12月　9日(金)	1月23日(月)
第9回	12月　6日(火)	12月20日(火)	1月16日(月) ～ 1月20日(金)	3月　6日(月)
第10回(※2)	令和5年　1月20日(金)	2月　3日(金)	2月27日(月) ～ 3月　3日(金)	4月19日(水)

※1 新規学校卒業予定の方は、第6回から応募することができます。
　入所予定は令和5年4月19日(水)です。
※2 第7回および第10回の応募回は、都合により、自宅等からの通所者のみの応募とします。
　(障リハ宿舎の利用ができません。)

オープンキャンパスのご案内

※見学説明会は令和4年度からオープンキャンパスに名称を変更いたします。

内　容

訓練概要説明・申請手続き説明、訓練見学、訓練体験(希望する方、1種類のみ)
＊国立障害者リハビリテーションセンターの宿舎見学
(身体障害、難病、高次脳機能障害のある方で希望する方のみ)

開催日

令和4年　4月27日(水)　5月25日(水)　6月15日(水)　7月20日(水)　8月6日(土)
9月21日(水)　10月12日(水)　11月16日(水)　12月14日(水)
令和5年　1月11日(水)　2月15日(水)　3月15日(水)
※8月6日(土)は実施内容が異なります。詳細は6月中旬頃にホームページへ掲載する予定ですので、そちらをご確認ください。

時　間

(訓練体験を希望する場合)　受付13：00～　説明開始13：15　終了16：40
(訓練体験を希望しない場合)　受付13：00～　説明開始13：15　終了15：30
*宿舎見学を希望する方　受付11：00～　見学開始11：15　終了12：00

定　員

各回 障害のある方30名(同伴者含めて50名程度)

訓練体験メニュー

※効果的な職業訓練体験を行うため、内容を変更する場合があります。

番号	訓練科・訓練コース	体験内容	定員
1	機械製図科	3DCADでの部品組立	3名
2	電子機器科	LED点灯回路の作成	4名
3	テクニカルオペレーション科	ランプ点灯回路の作成・小鳥のさえずり発声器の作成	
4	建築設計科	マイホームデザイナーを使用した間取り図作成	2名
5	OAシステム科	Visual Basicによる簡単なプログラミング	4名
6	視覚障害のある方が対象 視覚障害者情報アクセスコース	視覚障害者用支援機器・ソフトを活用した事務作業	2名
7	DTP・Web技術科	リーフレット作成・バナー作成	4名
8	経理事務科	給与計算	3名
9	OA事務科	やってみよう！ビジネス文書作成	4名
10	職域開発科 物流・組立ワークコース	ピッキング作業・組立作業	2名
11	職域開発科 オフィスワークコース	アンケート入力作業	4名
12	知的障害のある方が対象 職業実務科	パソコンを使っての伝票入力・ピッキング作業	4名

お申込み方法

参加を希望される方は開催日の前週の金曜日までに、「①氏名、②障害名(配慮事項)、③参加人数(同伴者は1名まで)、④所属、⑤参加希望日、⑥宿舎見学希望の有無、⑦連絡先(電話番号・住所)、⑧訓練体験希望の有無(希望する体験内容)」を職業評価課あて電話、またはE-mailにてお申込みください。

オープンキャンパスの申込み先

職業評価課　【TEL】04-2995-1201　【E-mail】Shokureha-hyokaka@jeed.go.jp

Q&A

Q 入所のための試験はありますか？

A 職業評価(P18参照)を受けていただきますが、職業実務科以外では学力検査はありません。職業実務科では、小学校中学年レベルの漢字の読み書き、計算の力についての検査があります。

Q 作業評価とはどのようなものですか？　事前の練習が必要ですか？

A 希望する訓練科・コースの教材を使って、文書や口頭での説明を正しく理解できるか、指示されたとおりに作業に集中して取り組めるか、その訓練で必要になる数学や国語の力があるか等を確認させていただくものです。作業内容はその場で丁寧に説明したり、指示書や解説書を提供したりしますので、事前の練習は必要ありません。

Q 職業訓練は2つ同時に申し込めますか？

A 申し込める訓練は1つだけですが、職業評価を受けているあいだに希望が変わったとき、または当センターにおいて適性等を理由に他のコースをお勧めしたときには、他のコースに希望を変更することができます。

Q 年齢制限はありますか？

A 年齢制限はありません。

Q 学校在学者の応募はどのようになっていますか？

A 当センターの職業訓練は高等学校等を卒業した方、またはそれと同等の学力を有すると認められる方を対象としています。在学中の方は、最終学年の指定の時期から応募することができますが、入所日は学校卒業後の4月になります。

Q 病院に通院しながらでも訓練を受けられますか？

A 安定して訓練を受講するために必要な通院は認められます。ただし、あらかじめ訓練期間の途中で長期の療養や入院が見込まれる方はご遠慮ください。

Q 聴覚障害がありますが、手話で訓練が受けられますか？

A 手話ができる指導員、カウンセラー等が複数配置されており、可能なかぎり対応しますが、必要に応じて筆談等も利用させていただきます。

Q パソコンを使えないとだめですか？

A 訓練内容の多くでパソコンを使用しますが、訓練の初期にパソコン操作の訓練も行いますのでご安心ください。ただし、OAシステム科やDTP・Web技術科の一部など、パソコンの高いスキルを必要とする訓練コースでは、ある程度の知識がある方に入所していただいています。

Q 職業訓練の途中でコースを変更することはできますか。

A 原則、訓練開始後の変更はできませんが、当センターが就職のために必要と判断した場合には、他のコースの内容を部分的に取り入れたカリキュラムで訓練を実施することがあります。

Q 就職はどのような状況ですか？　就職希望地が地方でも就職できますか？

A 約80％の高い就職率となっています。職業指導を専門に担当するカウンセラー等が、指導員と連携して技能習得の進み具合を確認しながら、早い時期から就職活動を支援しています。就職希望地が遠方であっても、現地のハローワーク・支援機関と協力して、就職先の開拓や面接への同行等を行うのでご安心ください。

修了生の声

セルフマネジメント訓練で自分や他の人の課題を考えることにより、より多くの予備知識や**いざという時の対処法を知る**ことができたのがとてもよかった。自分の課題を見つめ、考える時間を与えてくれたことに感謝します。

センターに入所する前は、以前の仕事に戻ったり、転職活動をしたりしていましたがうまくいきませんでした。入所したことで、**自分の障害をよく理解することができ、それにどう対応すれば良いか**も学ぶことができました。また、訓練以外でも就職活動では多くのサポートをしていただきました。

物流・組立ワークコースでおよそ１年間通い続けた結果、自分のまだ知らなかった**社会のルールや仕事の適性、目指すべき就職先の候補を見つける**ことができました。会社見学など色々貴重な体験をさせていただきました。
指導員の方やカウンセラーさんと度々相談でき、障害者雇用について理解が深まり、**不安も軽減されました**。

Q 職業訓練を受講することで、何か資格が取れますか

A 一部の訓練科では、修了時の試験（技能照査）に合格すると技能士補が取得できます。技能士補は、技能検定（二級技能士）の学科が免除となります。
また、日本商工会議所が主催している検定や情報処理の国家試験など、当センターで受験できるものもあります。

Q 訓練を受けるために、費用はどのくらいかかりますか？

A 受講料は無料です（実習用器工具、教材は貸与）。ただし、訓練科によって異なりますが、年間５千円～ 2万円程度（参考書、作業服、安全靴など）の自己負担があります。

Q 訓練生のための宿舎はありますか？

A 身体障害のある方、高次脳機能障害のある方及び難病の方は、隣接する国立障害者リハビリテーションセンターの宿舎を利用することができます。手続きに時間がかかるため、ご希望の方は早めに国立障害者リハビリテーションセンター総合相談課（TEL：04-2995-3100）へお問合せください。
それ以外の方で自宅から通所できない場合は、当センター近隣のアパート等の利用をご検討ください。

Q 近隣にアパートなどはありますか？アパートの斡旋はしてもらえますか？

A 徒歩20分圏内に家賃月額５万円前後のアパートがあり、訓練手当等を支給される場合、一般的にはその範囲内で賃借料を賄うことが可能です。ただし、当センターでアパートの斡旋は行っていません。

Q 訓練受講中は収入がなく、１年間訓練生活が送れるか心配です。何か援護制度はありますか？

A 訓練受講中も安定した生活が送れるように、ハローワークによる受講指示を受けた場合には、雇用保険の失業給付が延長されたり、都道府県から訓練手当が支給されたりする制度があります。受講指示のためには一定の要件がありますので、詳しくは応募前にハローワークにご確認ください。

Q 食堂はありますか？

A 専用の食堂はありませんが、隣接する病院に食堂があります。また、仕出し弁当の利用ができます。国立障害者リハビリテーションセンターの宿舎に入寮する場合は、宿舎内の食堂を利用することができます。

Q 自家用車で通所できますか？職業訓練に通うときの交通費はどうなりますか？

A 自家用車での通所は、下肢機能障害等により公共交通機関の利用ができない方に限って認めています。それ以外の方は公共交通機関をご利用ください。交通費は自己負担となりますが、訓練手当等を受給する方はそのなかで一定額が支払われる場合があります。また、JR等の学割の対象校となっていますので、学校学生生徒旅客運賃割引証を発行することもできます。

Q 訓練中、万一事故にあったときなどには、何か補償はありますか？

A 任意ですが 職業訓練生総合保険に全員加入していただいています。なお、状況によって、自身がけがをした場合には、災害見舞金制度の対象になることがあります。

訓練生活のご紹介

【感 染 症 対 策】

手指のアルコール消毒

機材使用後のアルコール消毒

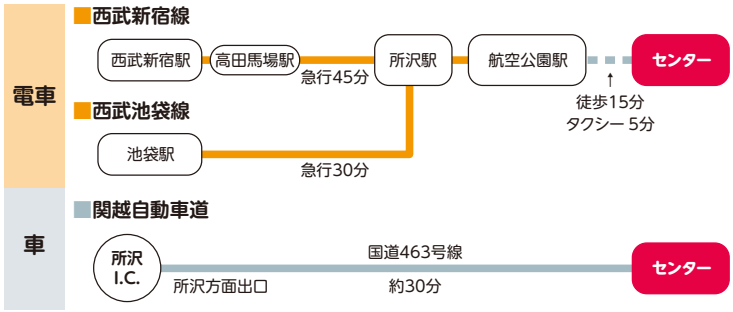
パーテーションの設置

【実 習 室 の 様 子】

お問合せ

入所を希望される方の 相談・見学	職業指導部　職業評価課 TEL　04-2995-1201　　FAX　04-2995-1277
事業主の相談・見学 職場実習等の相談	職業指導部　職業指導課 TEL　04-2995-1207　　FAX　04-2995-1277
職業訓練の内容	職業訓練部 TEL　04-2995-1713　　FAX　04-2995-1052
能力開発セミナー	職業訓練部　導入訓練・技法普及課 TEL　04-2995-1135　　FAX　04-2995-1163
指導技法等の相談	職業訓練部　導入訓練・技法普及課 TEL　04-2995-1144　　FAX　04-2995-1163
関係機関等の施設見学の受付	管理課 TEL　04-2995-1029　　FAX　04-2995-1052
その他のお問合せ	管理課 TEL　04-2995-1711　　FAX　04-2995-1052

案内図



国立職業リハビリテーションセンター

〒359-0042　埼玉県所沢市並木4-2
E-mail　shokureha-ctr@jeed.go.jp
URL　http://www.nvrcd.ac.jp/
職リハ

設置／厚生労働省
運営／独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。